

子育て応援しちゃいます！ わくわく城東

No. 23
平成27年4月
発行

発行・城東区役所 子育て支援室 06-6930-9857
編集・育児サークルシングルス team_singlez@yahoo.co.jp
協力・城東区子育て支援連絡会

幼稚園に聞きました

★嫌がって泣くと聞きます。親はどうしたらいいのでしょうか。
★親と一度も離れたことがなかったので、毎日通えるか不安です。

■初めは泣くのは当然のことと受け止め、お家の方が焦らず応援してあげてください。
■心配だと思いますが先生たちはその気持ちをしっかり受け止める準備をして待っています。勇気を出して担任にお子さんを預けてください。頑張ってお園して、帰ったらいっぱい誉めてあげてください。
■安心して登園できるように笑顔で出迎えます。また次の日も幼稚園に来たいと思えるようにどんな楽しいことをするのか前日に伝えていきます。
■「嫌がって泣く」というのは「周りの状況を見て不安な気持ちを表現できる」という大きな力です。大丈夫ですよ。

★お友達と一緒に遊んだり仲良くできるか心配です。
★人見知りなので、友達が作れるか心配です。

■「お友達と一緒に遊んでほしい」と思ってしまいがちですが、まずは幼稚園に慣れ、先生に慣れ、幼稚園が安心できる場所になることが大切です。最初は好きな遊びを見つけて、自分に楽しめるようになることを見守ってください。
■毎日の出席調べ等でお友達の名前を呼ぶことで、多くのお友達の存在に気付いてもらったり、お友達と関わりながら活動できるような保育内容を工夫しています。



★歌ったり踊ったりが苦手ですが楽しめますか？
★園での活動について行けるか心配です。
★集団生活のルールを守り馴染めるか不安です。

■子どもたちの様子や状態を見ながらその子に合う対応を心がけています。
■見ているだけで参加している気分になっている子もいるので「同じことをしない」と気にせずゆったり見守ってあげてください。
■きまりやルールは1つずつゆっくり教え、毎日の集団生活で身につけていきます。



★トイレを失敗しないか不安です。
★着替えなど自分のことが一人でできるか心配です。

■失敗しても一人でできないことがあっても大丈夫です。叱らず頑張っている姿を認め、その子にとって必要な手伝いをしながら「できてうれしい」「自分でやりたい」と自信につながるように励ましていきます。

★先生に伝えることがある時はどうしたらいいですか？

■些細なことでもかまいません。お話してください。
■朝や保育時間はゆっくりお話できないので、その日中に伝えたい急ぎの要件はメモや連絡カードで知らせてください。降園後なら直接お話してもらったり電話でも大丈夫です。
※連絡方法は園によって少し違いますが、上記のような回答が多かったです。

教えてください!! 入園入学の不安・心配・お悩み

「入園・入学で心配なこと、又は心配だったことありますか？」で集まったママさん達の不安や心配やお悩みを、現場で実際に子どもを受け入れてくれる先生方にお答えいただきました。

小学校に聞きました

★集団登校のない学校なので安全に行けるか、道に迷わないか不安です。
★一人で帰ってこられるか心配です。

■登下校については学校でも指導していますが、できれば入学前に道順を確認しておくが良いと思います。
■入学して少しの間は外まで迎えにお願いいただくと子どもたちも安心します。

★幼稚園の時より友達関係が複雑なイメージがあり、ちゃんと人間関係が築けるか心配です。
★新しい友達ができるか心配です。

■初めての友だちで言い方や対応の違い、びっくりすることがあるかもしれません。ゆっくり話を聞いて「大丈夫だよ」と声をかけてあげてください。
■小さなけんかはよくあります。そこから色々なことを学べるように指導しています。
■心配な時や気になることは些細なことでもかまいません。担任に知らせてください。

★先生に伝えることがある時は連絡帳に書いたらいいのかが、学校に電話してもいいのか迷います。

■心配事がある時は必ず連絡してください。
■連絡帳でも電話でもかまいませんが子どもたちがいる時間帯の電話対応は難しいです。
■子ども自身が伝えることも大切ですので、内容によってはご協力ください。

★幼稚園のように送り迎えにも行かないので、先生とも親同士も話す機会がありません。

■PTA 活動や懇談会等も交流の方法です。できるだけ参加させていただきたいです。



「大坂冬の陣古戦場 今福・蒲生激戦地の跡」の石碑を建立
今福西1-14 三郷橋稻荷大神

平成27年3月15日(日)に除幕式が執り行われました。
慶長19年(1642)豊臣軍が籠城する大坂城を取り囲むように、徳川軍が布陣をしました。
11月26日未明、秋田城主 佐竹義宣(さたけよしのぶ)は今福・蒲生方面を攻め、米沢城主 上杉景勝(うへすぎ)は鳴野の豊臣方の砦に向かいました。
双方ともに豊臣方の木村重成(きむらしげなり)軍、後藤又兵衛基次(ごとうまたへえもとつぐ)軍と激突し、大坂冬の陣最大の激戦となりました。



利用登録・更新のお知らせ

つどいの広場、子ども・子育てプラザでは、4月1日より、年に一度の登録更新の手続きをお願いしています。随時受け付けていますので、登録用紙に記入して事務所に提出してください。

なお、来館の際には利用者名簿に記名をお願いします。

よんでみてオススメ絵本

かこさとし おはなしのほん 偕成社

「からすのおかしやさん」
一番お兄さんのチヨコくんのお話です。

「からすのやおやさん」
お姉さんカラスのリンゴさんのお話です。

「からすのてんぷらやさん」
三番目に生まれたレモンさんのお話です。

「からすのそばやさん」
末っ子カラス オモチくんのお話です。

ベストセラー「からすのパンやさん」から40年ぶりに続きのおはなしができました。4羽の子どもたちがおとなになり、それぞれお店やさんをするようになります。商売の工夫や周囲との関わりなど、生きていくうえで大切なことや気持ちのありかたなどがわかりやすく描かれています。

より災害に強く、安心して住めるまちへ 大阪市防災・減災条例が平成27年2月1日から施行されています。 ～自助・共助・公助で命を守る～

公助に加えて、自助・共助による防災・減災の仕組みづくりを推進しています。



「市民防災マニュアル」 「水害ハザードマップ」
2月～3月末までに市内の全戸に配布予定です。従来のマニュアルより大幅にページ数も増えて文字通り「保存版」です。

条例によって今までと何が違う？
大阪市・市民・事業者、3者の責務と役割が明確化されました。私たち市民が準備しておかなければならない具体的な内容が盛り込まれています。

- ・自宅等の安全性の確保や防災知識の習得
- ・防災訓練への参加
- ・自主防災組織の結成

災害が発生した場合に「自分の命は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えをもって、公共機関がかけつけるまでの間、住民同士で助け合い、救出・救護・初期消火することで被害を最小限にする目的があります。

「大阪市防災・減災条例」のホームページ
大阪市トップページ → 防災ポータルサイト → 大阪市防災・減災条例
<http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000291154.html>